

日時

2017年 **11月11日**(土)
14:00~17:00

会場

北海道大学学術交流会館 大講堂
札幌市北区北8条西5丁目6(北大正門入って左)

講演

西部 忠 専修大学経済学部教授、北海道大学名誉教授
「北海道仮想地域通貨
—自律分散的な地域経済社会を目指して—」

深津 航 株式会社Orb最高事業責任者
「藩札経済にみるコミュニティ再生と金融システム
—北海道圏仮想通貨の可能性—」

高崎 義一 キズナジャパン代表取締役
「Doreming社の日本製FinTechによる
リアルタイム給与決済システム
—仮想通貨を使った地域貢献手当の世界的展開—」

パネルディスカッション

パネリスト **西部 忠**
深津 航
高崎 義一
司会 **満園 勇**
北海道大学大学院経済学研究院准教授



北海道で流通する仮想地域通貨(仮称DODollar)を導入することで、食・エネルギーの地産地消、インバウンド観光、および相互扶助の活性化を図り、より豊かで自律的な地域経済社会をめざすという地域政策構想について議論します。今回は、経済学者・経営学者、行政政策担当者ではなく、仮想地域通貨やリアルタイム給与ポイントシステムをすでに実施しているIT企業の代表者らをお招きし、彼らのビジネスのスキームや実績や経験をお話しいただき、それを踏まえてこうした地域政策の意義や実施方法について議論していきたいと考えます。

参加自由・無料

北海道仮想地域通貨の構想

食・エネルギーの地産地消、インバウンド観光、および相互扶助の活性化による豊かで自律的な地域社会形成をめざす